

留 学 報 告 書

(受入れ交換留学生)

記入日：2015年08月20日

出身国	タイ
出身大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学 人文学部 日本語学科 (英)
明治大学での留学期間	2014年09月～2015年07月

日本に留学しようと思った理由	自分の日本語をもっと鍛えたいため、自国で勉強すれば、まだ足りていないと思います。なぜかといえば、自国だったらいくら一所懸命勉強しても、教室からだと全部タイ語になっているので、日本人のように話せません。
明治大学情報コミュニケーション学部を選んだ理由	タイでも日本でも明治大学は有名な大学で、先生の方も一緒に懸命教えてくれています。しかも、現在、外国語が話せる人が増えてきていますが、ちゃんと正しく伝える人やメディアを正しく使える人はあまりいないだろうと思っているので、明治大学の情報コミュニケーションを選びました。
情報コミュニケーション学部・学生の雰囲気	ビルも近代的なスタイルで、教室も綺麗で、設備も設置しているので、勉強するのにとても役に立ちます。事務室のスタッフさんもいつも笑顔で手伝ってくれて、とても感謝しています。
宿舎の雰囲気	<input type="checkbox"/> 和泉 IH <input type="checkbox"/> 狛江 IH <input type="checkbox"/> その他(ホームステイ) 1年間で林田家と一緒に住んでいました。皆と1暮らしが出来て、とても幸せな1年でした。皆がとても優しく、いろいろなことを手伝ったり、教えたりしてくれて、とても感謝しています。こんな経験ができて、一生忘れません。毎日皆と日本語で話して、いい練習になって、前より自然な日本語になってきました。
交友関係	大学ではいろいろな国の友達ことができました。最初のあまり話しませんでした。どうしてかとうとうと、自分の英語あまりよくないし、日本語で話したら、大丈夫かなあと考えていました。だけど、友達と言うのは100%話したことを理解できなくても、一緒にいて、いろいろなことを体験して、一緒に笑ったり泣いたりしてくれる友達できて、本当に幸せな1年でした。
学習内容・勉強について	大体取っている授業は日本語でした。総合日本語「文法・語彙・文章を勉強する科目」読解・口頭表現・文章表現 読解の授業でいろいろなものを読ませて、新聞記事・小説・怪談までも読んでいました。長く集中できない自分にとってはとてもいい練習になりました。口頭表現の授業でもっと自然な日本語・日本人のように話せるようになる授業です。発表や劇までも出演したこともあります。クラスメットの皆と一緒に台詞やキャラクターを考えて、とても楽しかった。文章表現は硬い言

	<p>葉・書き言葉を向ける授業です。この授業が大好きです。どうしてかというと、通訳になりたい自分にとっては、書き言葉がとても重要なので、正しく話せるだけでなく、硬い表現をちゃんと身に付けたいと思います。</p>
課題・試験について	<p>課題は結構ありました。特に試験の時は復習しなければことがいっぱいあって、困ってました。試験は難しいのもあって、簡単なものもありました。でも、勉強内容は自分の興味を持っていなかったら、うまく出来ませんでした。</p>
大学外の活動について	<p>製菓専門学校に通ってました。ケーキとパンのコースを取りました。製菓の興味をもっているため。もっと新しい知識や技術を身につけたいと思います。</p>
ある平日のスケジュール	<p>7時：起床、9～12時：授業、12～13時：昼食、13～15時：授業、17時：家に到着、18時：運動、19～20時：家事 21時：夕食 22時：予習 23時：就寝</p>
ある休日のスケジュール	<p>10時：起床、12～14時：授業、15時：昼食、16～17時：運動、18～19時：自由時間、20時：夕飯、21～23時：自由時間 00時：就寝</p>
情報コミュニケーション学部で得たことや留学の感想	<p>日本語の先生および、情報コミュニケーションの先生 1年間大変お世話になりました。1年間ここで留学することができて、とても楽しくて、幸せな1年でした。一生忘れません。皆さんがいろいろなことを手伝ってくれて、優しい言葉や感謝の言葉をかけてくれ感謝しています。僕が帰国するので寂しくなるが、また会える日を楽しみにしています。</p>

私の時間割

秋学期	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限		日本語5（総合）		日本語5（総合）	日本語5（総合）	
2限		日本語5（読解）			日本語5（文章表現）	
3限		身体コミュニケーションB				
4限						
5限				問題分析ゼミナール I		
6限						